

「夏の懇親会」を開催 夢追塾同窓会3期会

夢追塾同窓会3期会は8月28日(日)に恒例の夏の懇親会を開催しました。

参加者(順不同、敬称略)

樺沢敬視、赤木博、高城泰男、宮尾節子、坂本博子、池田慶子、長野幸子、今井由子、貞光文江、福森明人、小松良子、畑美根子、永吉和幸

今回は今年4月にオープンした北九州市「認知症支援・介護センター」(小倉北区馬借1丁目7-1)を見学しました。

同センターは「総合福祉センター」(愛称:アシスト21・ひまわりセンター)の5階にある北九州が運営する施設ですが、その運営に携わる中核団体のひとつである「認知症・草の根ネットワーク」のスタッフの一人として活躍している3期会員の長野幸子さんの提案で同センターを見学することになりました。

<当日のスケジュール>

10:30……同センター5階の「カフェ・オレンジ」に集合

「草の根ネットワーク」代表の田代久美枝さんから北九州市の認知症、介護の現状とこれから私たちの生き方についてミニ卓話

11:00……長野さんの案内でセンター内の設備と各部屋を見学

11:20……3期会の会議

- ・3期の今井会長から同窓会役員会の議事内容を説明
- ・次回のみよし会例会(若松)について福森さんから説明
- ・みよし会の永吉会長から11月の宿泊研修について提案

11:40……懇親会場への移動の途中、魚町銀天街内の「いきがい活動ステーション」に立ち寄り、同センター所長の江崎時良さんから施設の説明を受ける

12:00……食事処「黒田節」で昼食をしながら懇親

田代さんの「認知症になる前段階に“MC I”という前兆ともいえる時期が誰にもあります。この時期をどう過ごすかで認知症になるかどうかが決まります」という話には、全員が「なるほど」と感動していました。

なお、同センターはいろいろな会議にも無料で使用できるということで、3期で登録することになりました。承諾書が届いたら「使用の際の手続き方法」を添えて皆さんに連絡します。

